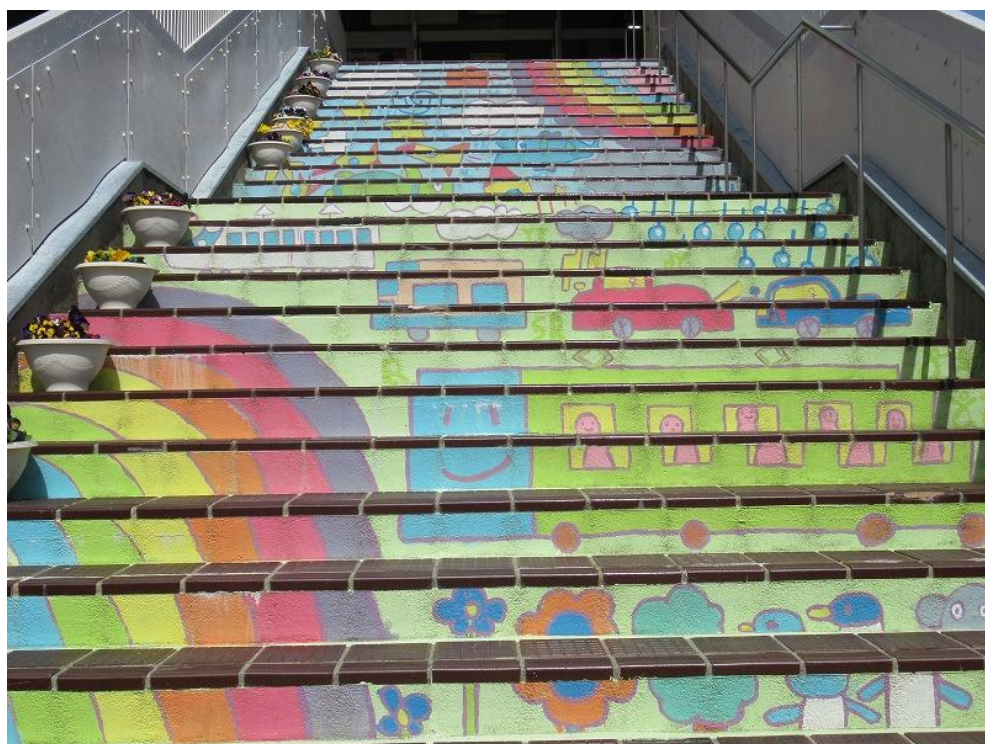


令和6年度（2024年度）

進路・福祉のてびき



大阪府立高槻支援学校 進路指導部

進路・福祉のてびきについて

この進路のてびきには、卒業後の進路を考える上で参考になるよう、進路行事などに関する説明、支援機関、施設の情報などを載せています。各学部での進路指導の流れやこの資料を基に、少しでも早くからお子様の進路について関心を持っていただき、地域の施設や職業能力開発校などを多く見学していただきたいと思います。

また、在校中の福祉サービス利用についての相談先や、卒業後の支援機関についても載せておりますので、参考にしてください。

目次

I	進路指導の重点	2
II	進路指導部の体制	2
III	進路指導年間計画	2
IV	卒業後の進路先について	7
V	関係機関および施設	9
	・相談の窓口	
	・日常生活の支援	
	・障害者職業能力開発校	
	・通所施設	
	・入所施設	
	・通勤寮、グループホーム	
VI	卒業後のアフターケア ほか	15
VII	進路状況	16

I 進路指導の重点

- ① 日常の教育活動を通して児童・生徒の個性と能力を最大限に伸ばす中で、一人一人の児童・生徒が自分の最も適切な進路を考える力を養う。
- ② 全教職員の共通理解のもとで、協力的指導体制を組織するとともに、保護者ならびに地域を含めた関係諸機関との連携を深める。
- ③ 児童・生徒の進路指導計画設定に資するために、本校卒業生の進路状況の把握に努めるとともに、卒業生のアフターケアに努める。

II 進路指導部の体制

進路指導部長	田中	良平		
進路指導主事	田中	良平		
小学部	西山	美香		
中学部2年	田中	麻衣		
中学部3年	高村	夏芽	田路	彰平
高等部1年	澤井	みどり	井上	ひとみ
高等部2年	永田	大輔	松露	怜
高等部3年	岩本	好弘	檜尾	宏 阪本 鈴菜

以上の教員が、今年度の進路指導を担当します。進路に関するご質問・ご相談は、お気軽に進路指導部までお問い合わせください。

III 進路指導年間計画

以下に各学部の計画を掲載します。予定が変わることもありますので、あらかじめご了承ください。

【小学部】◎保護者対象

- 4月 ◎学年懇談会で進路概要説明
- 4月 ◎施設(作業所)説明会…②(4ページ参照)
- 12月 ◎保護者進路説明会、中学部授業見学
- 2月 中学部体験入学

※施設(作業所)説明会は全学年対象、ほかは小学部6年が対象です。

【中学部】 ◎保護者対象 ☆生徒および保護者対象 全学年の記載がなければ中3対象

月	中学部 (茨木支援高等部校区)	中学部 (高槻支援高等部校区)	中学部 (他校受験関係)
4	◎学年懇談会で進路概要説明 ◎施設(作業所)説明会(全学年)…②(4ページ参照) ☆進路希望調査		
5	◎家庭訪問(懇談)にて進路希望聞き取り		
6			阿武野高校自立支援コース説明会
7	☆茨木支援学校見学・説明会 ☆茨木支援学校教育相談(~11月)		
8			☆高等支援学校オープンスクール
9			☆高等支援学校オープンスクール
10	☆茨木支援学校見学・説明会 (~11月)	◎本校高等部見学・説明会 (全学年)	
	☆進路希望調査		
11	↓ ↓ 進路学習	進路学習	☆高等支援学校見学・説明会
12	茨木支援学校高等部見学	本校高等部体験学習	
1	願書提出	願書提出	
2			高等支援学校、願書受け取り・提出、入学検査・面接
3	入学検査・面接、入学予定者発表・説明会		高等支援学校・合格発表

他校受験先として、近隣には、高等支援学校(とりかい、むらの)、自立支援コース(阿武野)、共生推進教室(千里青雲、北摂つばさ)、高等専修学校等があります。他校に関する日程は、他校の都合で前後することがあります。最新情報は随時、中学部進路ニュースでお伝えします。

【高等部】 ◎は保護者対象 ☆生徒・保護者対象 ※主に企業就職希望者対象

月	全 学 年	1 年	2 年	3 年
4	◎進路説明会…① ◎施設(作業所)説明会…②			※就職前提の企業実習 (通年随時) …⑫
5	◎施設(作業所)見学会…③			☆進路希望調査…⑥
6			実習週間…⑦ 職業講話…⑩	☆進路懇談…⑪
7		☆進路希望調査…⑥	☆実習希望調査…⑧	※職業相談…⑬
夏休み				☆能力開発校(訓練校)入校相談…⑭ 利用前提の施設実習(以後随時)…⑫
9			※企業体験実習 (以後随時) …⑨	☆利用希望調査…⑮
10	実習報告会…④	実習週間…⑦	施設体験実習…⑨	
11		☆実習希望調査…⑧	☆進路懇談…⑪	訓練校出願(予定)
12				◎移行支援の説明会…⑯ 訓練校受験、合格発表(予定)
1				◎施設利用申請(随時)…⑰
2	進路講座…⑤	市役所体験実習…⑨		
3				☆訓練校入校説明会 ※就業・生活支援センター登録…⑱

【各取り組みの説明】

① 進路説明会

高等部の保護者を対象に1・2年生と3年生の2部制で実施しています。1・2年生の保護者の方には、進路指導に関する3年間の取り組みについてお話をします。3年生の保護者の方には、進路決定までの1年間の流れを詳細にお話ししています。

② 施設(作業所)説明会

全学部の保護者を対象に実施しています。高等部卒業後の進路先である各施設の代表の方に来ていただき、施設ごとにブースを設けます。ブースごとに説明を受けたり、利用について相談したりできます。令和6年度から「高槻市民間社会福祉施設連絡会」に主催を移し、高槻城公園芸術文化劇場北館で実施します。

③ 施設(作業所)見学会

高等部保護者対象の行事ですが、一部生徒本人の参加も可能です。高槻市・島本町の各施設のほか、一部他市の施設や職業能力開発校を見学します。現地集合・現地解散です。希望者が定員を超えた場合は3年生の保護者を優先でお願いしています。

④ 実習報告会

高等部2年生と3年生が、企業や施設に実習に行ったことについて報告します。実習を経験した生徒にとっては、実習をふりかえる機会となり、高等部1年生の生徒にとっては、これから取り組むことになる校外での実習についてのイメージを持つことを目的としています。

⑤ 進路講座

高等部の生徒全員対象の行事です。本校の卒業生とその上司、指導員の方を講師に迎え、企業就労と福祉就労について話を聞き、自己の進路を考えるヒントにします。

⑥ 進路希望調査

高等部1年生での調査は本人および保護者の進路に関する考えをお聞きし、今後の進路指導の参考にいたします。高等部3年生での調査は、その後にある進路懇談・実習に向けて、より具体的な希望をお聞かせいただきます。

⑦ 実習週間

高等部1年生と2年生が、校内作業を中心とし、企業・施設(作業所)見学などを行います。

校内での軽作業や校外での実習など、1週間通して行うことで就労への関心や意欲を高めることを目的として行います。

⑧ 実習希望調査

高等部1年生は、1～3月に、高槻市役所での職場体験実習に行きます。全員ではなく希望者のみとなっていますので、実習への希望を11月ごろに伺います。

高等部2年生は、企業や事業所などに体験実習に行きます。その際、どのような体験実習を希望するかを7月ごろにお伺いします。

⑨ 実習(市役所体験実習・企業体験実習・施設(作業所)体験実習)

高等部1年生は、1～3月に、市役所での体験実習を中心に行います。

高等部2年生は、9月から順次企業体験実習を行います。また、10月に施設(作業所)体験実習を行います。市役所体験実習・企業体験実習は現地集合・解散を原則とし、教員の付添いがなく、一人で仕事をすることもあります。職場の人とのやりとりが中心となり、長い場合は9時前から5時ごろまで立ち仕事をやる職場もあります。これらの実習は卒業後の就職や施設(作業所)の利用とは関係なく、あくまで体験学習として行います。

⑩ 職業講話

高等部2年生で、近い将来に企業就職を希望する生徒対象の行事です。外部の講師を招き、働くことの意義や企業への実習に参加する上での注意点、普段の生活で考えてほしいことなどの話を聞きます。

⑪ 進路懇談

高等部2年の進路懇談は、保護者・学校(担任・進路担当)で、具体的な進路希望を確認するとともに、今後に向けての課題を明らかにします。

高等部3年1学期の進路懇談では、本人・保護者・学校の他に、必要に応じて各市町役場の担当者などが加わります。この相談をもとに、夏休みに行う実習の設定など、希望する進路への動きを具体化していきます。

⑫ 就職前提の企業実習、利用前提の施設(作業所)実習

就職を目的として行う実習は、通常2週間程度実施します。実習を通してその企業における作業や人間関係に適応し、「就職して働ける」と本人側、企業側の双方が判断した場合に、就職内定へと進めていきます。企業により、内定から卒業後の正式入社までの間に研修を行う場合もあります。

施設(作業所)の場合は、利用前提の実習が、夏休み以降随時行われます。期間は1～5日間です。実習後、利用を希望する場合は、利用申請を行います(⑮参照)。

⑬ 職業相談

就職や障がい者職業能力開発校(職業訓練校)を希望する生徒とその保護者が、茨木公共職業安定所(ハローワーク茨木)の担当者と個別の相談をします。この時に求職登録も行います。学校からも進路担当者が同席しますが、高槻市障がい者就業・生活支援センターの就労支援員も出席し、就労支援の協力をいただいています。

⑭ 職業訓練校入校相談

職業訓練校への入校を希望する場合、生徒と保護者が希望校に赴き入校相談をします。訓練校の説明・見学および簡単な面接があります。入校相談の後、日を改めて体験入校をします。入校相談・体験入校の際、訓練校に良い印象を持ってもらうことも大事です。

⑮ 利用希望調査

施設(作業所)での実習後、来年度からの利用を希望するかどうかをお伺いします。施設が受け入れ可能であれば、3学期に利用申請を行います(次のページ⑰参照)。2学期中に、施設と保護者とで面談や説明会を行う施設もあります。その場合は、施設から連絡があります。

⑯ 移行支援の説明会

高等部3年の保護者を対象に、卒業後の福祉サービスの利用の仕方、障がい年金について、個別の移行支援計画の作成についてなどの説明を行います。

⑰ 施設(作業所)利用申請

⑮のあと、施設(作業所)から受け入れ可能(内定)の返事がもらえたら、市役所(町役場)の障がい福祉課に療育手帳と印鑑、マイナンバーが分かるものを持参し、施設利用の申請をします。サービス等利用計画は地域の相談支援事業所に作成を依頼するか、セルフプランで作成します。その後「施設利用の受給者証」が交付されます。申請の流れについては、⑯「移行支援の説明会」で詳しくご説明いたします。

⑱ 就業・生活支援センターへの登録

卒業後、就職した者が仕事に関して何か困ったことがあったときに相談することができる場として、また、訓練校に進んだ者が就職の相談をする場として、高等部在学中に登録をします。学校と協力して職場定着のための企業訪問などもしてもらえます。高槻市・島本町在住の生徒は「高槻市障がい者就業・生活支援センター」に登録をします。

IV 卒業後の進路先について

1. 労働

就職

茨木公共職業安定所(ハローワーク茨木)と学校とが協力して就職先を探します。まず本人が「どんな仕事がしたいのか」「体力はどの程度あるか」「手先の器用さや集中力はどうか」「対人関係はどうか」「どこまでの通勤が可能か」など、自分自身の状況や希望をしっかりと把握しておく必要があります。

就職のためには一定の作業能率が要求されるのはもちろんですがそれ以上に必要なことは「まじめに働き続けようとする意思の強さ=やる気と根気」です。家庭の支援、ある意味での厳しさも非常に大切です。希望にあう会社が見つければ、会社に依頼して1~2週間程度の現場実習(6ページ⑫参照)を行います。実習後、本人が「この会社で働きたい」、企業が「雇いたい」とお互いの気持ちが一致すれば、労働条件を確認して就職が内定します。高等部3年生になるまでに、校外での実習を経験し、自分の適性を広げておくことが大切です。

障がい者職業能力開発校(職業訓練校)

知的障がい者を対象とした職業能力開発校(職業訓練校)がいくつかあります。これらは職業能力開発促進法にもとづき、障がい者が職業に必要な技術や知識を習得して職業的に自立し、生活の安定と地位向上をはかることを目的として国が設置し、大阪府などが運営する施設です。他府県にある訓練校に進むことも可能です。

訓練科目は各訓練校により様々ですが、共通のねらいは、特別な技能を身につけるのではなく、就職のための基礎や常識を学ぶことです。たとえば、仕事に耐える体力づくり、社会での習慣を知ること、上司

や同僚との応対を身につけることなどです。

京都府立城陽障害者高等技術専門校は全寮制(週末は自宅に帰る)で、生活の訓練を含めて将来の自立をめざす訓練をしています。

期間は、ほとんどの所が1年間(大阪市職業指導センターは2年)です。卒業後、直ちに就職できることをめざして訓練や実習を受けていきます。大阪の訓練校の試験日程は、10月ごろに発表されます。学科試験・面接試験・体力検査などにより合格者が決定されます。

授業料は無料ですが、教科書や作業服の費用は本人負担となります。大阪府の訓練校に通う場合は、訓練手当が支給されます。他府県の場合は支給されませんのでご注意ください。(11ページに校名と所在地を載せています)

2. 福祉

日中活動の支援

生活介護

創作的活動または生産活動の機会を提供したり、必要に応じて食事や排せつなどを支援したりします。利用の際は送迎があることが一般的です。この支援は障がい支援区分3以上の人が対象となり、区分2以下の人は利用できません。(利用年限なし)

自立訓練

自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を行います。施設に入所する、宿泊型自立訓練もあります。(利用年限2年)

就労移行支援

一般企業などへの就労を目指す人に、一定期間、就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。(利用年限2年)

就労継続支援 (A型=雇成型, B型=非雇成型)

一般企業などでの就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。A型は福祉サービスの側面を持ちつつ、雇用契約を結ぶので原則として最低賃金を保証しています。B型は非雇成型なので、最低賃金は保証されていませんが、事業所によって、さまざまな特色を持つ作業を行っています。(利用年限なし)

※卒業後、就労継続支援の事業所を利用する場合、在学中に就労移行支援の事業所を2週間程度利用して、アセスメントを受ける必要があります。これを進路選択支援事業といいます。

居住支援

共同生活援助 (グループホーム)

障害のある人が3~7人程度のグループで家やマンションを借り、地域で暮らしていくための支援です。世話人に食事の用意などの手助けをしてもらいますが、一人ずつのプライバシーを尊重しながらメンバーで協力して生活をしていきます。グループホームは障がい支援区分1以上の人が対象となります。

V 関係機関および施設

相談の窓口

1 市役所 福祉課（町役場 福祉推進課）

施設を利用したいとき、また日常生活で困っていることなど、障がい者のいろいろな相談について居住地の市役所(町役場)で応じています。

行政区	住所	電話	最寄り駅
高槻市	高槻市桃園町 2-1	☎072-674-7164	JR・阪急高槻
島本町	島本町桜井 2-1-1	☎075-962-7460	JR島本
茨木市	茨木市駅前 3-8-13	☎072-620-1636	JR・阪急茨木

2 大阪府障がい者自立相談支援センター

（地域支援課・身体障がい者支援課・知的障がい者支援課）

市町村からの依頼を受けての進路相談や生活相談、18歳以降の知的障がいの等級の判定などは、自立相談支援センターの知的障がい者支援課で行われます。

大阪市住吉区大領 3-2-36	大阪府障がい者医療・リハビリテーションセンター内
地域支援課	☎06-6692-5261
身体障がい者支援課	☎06-6692-5262
知的障がい者支援課	☎06-6692-5263
手帳発行関係	☎06-6692-5264

3 子ども家庭センター

知的障がいのある児童についての専門的、総合的判定を行うとともに、相談や児童養護施設を利用する手続きなどを行っています。

- ・大阪府吹田子ども家庭センター
吹田市出口町 19-3 ☎ 06-6389-3526

4 公共職業安定所（ハローワーク）

主に専門援助部門で、就職や職業能力開発校に関する相談を行っています。

- ・茨木公共職業安定所
茨木市東中条町 1-12 ☎ 072-623-2551 内線 42#

5 障がい者職業センター

障がい者の就職のための相談、職業評価、職業準備訓練、職場適応のための助言等を行っています。ただし、高等部在籍生徒の職業評価は行っていません。

- ・大阪障害者職業センター

大阪府中央区久太郎町 2-4-11 クラボウアネックスビル内 ☎ 06-6261-7005

6 相談支援事業

外来および巡回の方法による療育相談や指導、福祉サービスの利用調整などを行い、障害者とその家族への支援を行っています。14 ページのQRコードを読み取ると、最新の一覧をご覧いただけます。

・らいと	高槻市真上町 2-3-23	☎ 072-686-5833
・スキップ	高槻市高槻町 4-17	☎ 072-668-4620
・あんだんて	高槻市郡家本町 5-2	☎ 072-681-4755
・わかくさ	高槻市唐崎 1277	☎ 072-679-3043
・ステップ	高槻市富田町 5-17-5	☎ 072-694-9898
・聖ヨハネ障がい者相談支援事業	高槻市城内町 1-11	☎ 072-672-0267
・オアシス	高槻市松川町 25-5	☎ 072-662-8130
・ライラック	高槻市津之江町 2-24-12 今井ビル 2F	☎ 072-676-5513
・スピカ	高槻市松川町 25-5	☎ 072-662-8121
・ナースキャップすずらん	高槻市川添 2-19-2	☎ 072-668-2071
・おれんじ	高槻市大畑町 5-4 フリソハイツ 103 号	☎ 072-655-5878
・自立センター前穂	高槻市日吉台 1-21-18	☎ 072-689-8600
・ぽぽんがぽん	茨木市駅前 1-4-14 エステ茨木駅前 3F	☎ 072-632-9210
・あい・あい	茨木市安威 2-4-1	☎ 072-640-5336
・あゆむ	茨木市豊川 3-9-16	☎ 072-643-7775
・りあん	茨木市下中条町 4-5 ラ・ルール 102 号	☎ 072-621-3001
・慶徳会	茨木市清水 1-28-15	☎ 072-646-7199
・とんぼ	茨木市駅前 1-3-7 長屋ビル 202 号	☎ 072-631-2677
・リーベ	茨木市玉櫛 2-5-8	☎ 072-632-0906

7 障がい者就業・生活支援センター

施設(作業所)に通っているが就職したい、仕事をしていたが解雇され次の仕事を探しているが見つからないなどといったとき、就職に向けて支援を行っています。

- ・高槻市障がい者就業・生活支援センター

高槻市高槻町 4-17 ☎ 072-668-4510

日常生活の支援

日常生活の支援においては、短期入所事業(ショートステイ)、デイサービス事業、ホームヘルパー、ガイドヘルパーの派遣事業があります。ご利用に際しては、市役所の福祉課(町役場の福祉推進課)にご相談、お申し込みください。

障がい者職業能力開発校

体験入校を実施する開発校もあります。

- ・ 摂津市障害者職業能力開発センター (通称：せつつくすのき)
摂津市鳥飼上 5-2-8 ☎ 072-653-1212 阪急バス・ふれあいの里
- ・ 大阪 I N A 職業支援センター
箕面市稲 6-15-26 ☎ 072-729-7021 阪急バス・豊島高校前
- ・ 大阪府立北大阪高等職業技術専門学校・ワークトレーニング科
枚方市津田山手 2-11-40 ☎072-808-2151 JR河内磐船・津田駅からバス
- ・ 大阪市職業リハビリテーションセンター
平野区喜連西 6-2-55 ☎ 06-6704-7201 地下鉄・喜連瓜破
- ・ 大阪市職業指導センター
住之江区泉 1-1-110 ☎ 06-6685-9075 地下鉄・住之江公園
- ・ 兵庫障害者職業能力開発校
伊丹市東有岡 4-8 ☎ 072-782-3210 JR・伊丹
- ・ 京都府立京都障害者高等技術専門学校
京都市伏見区竹田流池町 121-3 ☎ 075-642-1510 京都市地下鉄・くいな橋
- ・ 京都府立城陽障害者高等技術専門学校
京都府城陽市中芦原 59 ☎ 0774-54-3600 近鉄・新田辺からバス

通所施設(作業所)

4月に実施予定の施設(作業所)説明会でお配りした資料をお持ちの方はそちらをご覧ください。
お持ちでない方は右のQRコードをお読みいただき、ご覧いただけます。

施設(作業所)説明会 web版



入所施設

ここでは近辺の施設のみ掲載しますが、ほとんど空きがなく待機者が多くいるのが現状です。希望される場合はご相談下さい。

三島の郷	高槻市原 924-4	072-688-0768	市バス原大橋
萩の杜	高槻市萩谷 14-1	072-699-0099	市バス萩谷総合公園
サンライズ	茨木市泉原 37-7	072-649-1110	阪急バス・千堤寺口

宿泊型自立訓練

交野自立センター	交野市寺 4-590-1	072-893-4523	J R河内磐船・京阪河内森
----------	--------------	--------------	---------------

グループホーム

グループホームについては、プライバシー保護のため、所在地はご案内していません。

また、グループホームは空きがない場合が多いです。詳しくは相談支援事業所(10ページ、6.参照)にお問い合わせください。

※通所施設を始めとする、福祉事業所の最新情報については、随時各市町のホームページで更新されていますので、ご確認ください。各市町が掲載している福祉事業所一覧のあるWEBページURLをQRコードにしましたので、ご利用ください。令和5年3月に確認しましたが、各市町のホームページ更新により、URLが変更された等の理由で表示されない場合はご了承ください。

高槻市	島本町	茨木市
		

VI 卒業後のアフターケア・他

アフターケアとして進路担当・旧担任の教員が企業や施設を訪問します。進路先の要請によって、仕事や人間関係がうまくいくように企業・施設の担当者と話をしたり、本人から話を聞いたりしています。その他、次のような活動も行っています。

心陽会の活動

高等部卒業後、皆さんは「心陽会」^{しんようかい}（高槻支援学校同窓会）の会員となります。「心陽会」では以下の行事などを毎年実施していますので、ぜひ参加してください。

- ・ 総会（5月か6月・学校）
- ・ ボウリング大会（1月・有料）

※案内のはがきを送ります。住所が変わったときには必ず学校の「心陽会担当」まで連絡してください。（072-696-2836）

福祉出張相談

7月に福祉出張相談を実施します。地域の相談員の方に学校に来ていただき、福祉サービス（ガイドヘルプ・ショートステイ・ホームヘルプなど）利用手続きの仕方や事業所の紹介、また、卒業後の進路についての相談などをしてもらっています。事前に案内をお配りします。相談を希望される方は気軽にお申し込みください。料金は必要ありません。

※進路に関してのご要望・ご質問などがありましたら、各担任または各学部・学年の進路担当までお問い合わせください。

VII 進路状況

令和5年度高等部卒業生の進路状況

進路種別	人数(人)
企業就職	1
訓練校	1
就労移行支援	1
自立訓練	11
就労継続支援A型	0
就労継続支援B型	8
生活介護	15
その他	0
計	37

令和6年3月31日現在

大阪府立高槻支援学校

TEL 072-696-2836

FAX 072-693-4363

☆この冊子は、高等部生徒の協力により作成しています。